

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171000047		
法人名	社会福祉法人 健寿会		
事業所名	グループホーム なごみ		
所在地	佐賀県佐賀市富士町大字小副川562		
自己評価作成日	平成30年2月14日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp">www.kaigokensaku.mhlw.go.jp</a>
-------------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成30年3月20日	外部評価確定日	平成30年5月10日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>自然環境に恵まれた山紫水明の地で四季折々の美しい景色と温泉入浴を楽しんでいただき、日常生活動作の中でお手伝いやレクリエーション等のリハビリを取り入れ、家庭的で安心出来る生活を送っていただけるようサポートしている。また、入居者個々の残存能力を活かし個別に対応している。</p>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>佐賀市富士町の熊の川温泉近くの高台に建つ平屋建てのグループホームである。敷地内には隣接して同法人の介護老人福祉施設や通所介護・訪問介護・ショートステイ・小規模多機能ホームなどの介護事業所が建ち、一つのコミュニティを形成している。近くに民家などは無く地域社会から孤立しているようにみえるが、隣接事業所利用や面会などで敷地内を訪れる地域住民は多い。また、納涼祭や敬老会・文化祭など地域住民が参加できる法人合同での催しも数多くあるなど、広大な敷地は地域住民が集える場となっている。特に納涼祭は地元住民も合わせて400～500人の参加があり、富士町の年間行事にも紹介されている。小高い丘の上にある敷地は、広い空と緑に囲まれ自然豊かな景色が広がっている。地域の中で安心して家庭的な生活を過ごせるように、利用者それぞれの歴史を尊重し楽しい毎日となるように支援している。自立支援を大切にし、できることまで奪ってしまわないような支援を心がけ、ここで最期を迎えられて良かったなと思えるような介護を目指している事業所である。</p>
---

# 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(Ⅰ)	自己評価／ユニットB(Ⅱ)	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	一人ひとり個人として尊重し、地域の中で心のふれあい・あたたかさを大切にたし添うケアに努める事を運営理念としており、ミーティングの際も理念に基づいたサービスの提供が出来るよう話し合いを行い日々の業務に取り組んでいる。	一人ひとり個人として尊重し、地域の中で心のふれあい・あたたかさを大切にたし添うケアに努める事を運営理念としており、ミーティングの際も理念に基づいたサービスの提供が出来るよう話し合いを行い日々の業務に取り組んでいる。	法人の理念を基本理念とし、地域の中でその人らしい家庭的な生活がおくれるよう支援する事業所理念を作っている。ここが家であり、利用者すべてが家族であるという意識のもと、利用者の歴史を大切にたした支援にあたっている。理念は目に付くところに掲示し意識付けを図っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	併設の介護施設における行事に近隣の保育園、小・中学校、また住民も積極的に参加いただいているが、事業所側から地域へ外向く事は少ない。今年度は手伝いという形で地域行事であるふれあい祭りに参加させていただいたので来年度に繋げたい。	併設の介護施設における行事に近隣の保育園、小・中学校、また住民も積極的に参加いただいているが、事業所側から地域へ外向く事は少ない。今年度は手伝いという形で地域行事であるふれあい祭りに参加させていただいたので来年度に繋げたい。	事業所近くに民家がなく一般的な近所つきあいはできないが、各種の介護事業所が隣接している敷地内は地域住民が多く集まれる環境にある。法人合同の納涼祭は地元住民も含めて400～500人の参加があり、地元富士町の年間行事としても紹介されている。また、手作りバイキング料理が準備される敬老会や、甘酒・ぜんざいの喫茶や作品発表がある文化祭など地域住民が集まり交流できる催しが数多く実施されている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	例年、介護者教室や生活・支援サポーター養成事業に取り組んでいるが今年度は実施しておらず。今年度は地域行事であるふれあい祭りに手伝いという形で参加し、来年度の地域貢献に活かしたい。	例年、介護者教室や生活・支援サポーター養成事業に取り組んでいるが今年度は実施しておらず。今年度は地域行事であるふれあい祭りに手伝いという形で参加し、来年度の地域貢献に活かしたい。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	概ね2ヶ月毎に開催し日頃のサービスの内容や入退居状況等情報提供を行い地域の方から意見や感想等いただきサービスの向上に活かしている。また今年度も引き続き地域の方と行政職員の方に参加いただいている。	概ね2ヶ月毎に開催し日頃のサービスの内容や入退居状況等情報提供を行い地域の方から意見や感想等いただきサービスの向上に活かしている。また今年度も引き続き地域の方と行政職員の方に参加いただいている。	運営推進会議は地域代表や行政職員・家族の参加で開催されている。会議では事業所を知ってもらえるような情報提供がなされているが活発な意見交換には至っていない。如何に意見を出していただくか思案中である。地域行事の日程を聞いたりバスレクの行先の助言をもらったりしている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(Ⅰ)	自己評価／ユニットB(Ⅱ)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域の事業や法人事業等、随時話し合うようにしている。	地域の事業や法人事業等、随時話し合うようにしている。	母体法人が地域包括支援センター事業を受けており、日頃から市とのつながりは深い。ふれあい祭りに認知症相談コーナーを開設したり福祉用具展示などのブースを出したりしている。また、行政職員が運営推進会議委員でもあり、普段から協力関係を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	併設施設と合同で身体拘束廃止委員会を開催しており、内容をミーティング時に全職員に伝達、また、マニュアルの周知徹底や研修に参加し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。今年度は委員にて各部署のラウンドを行い、意見など業務に活かしている。	併設施設と合同で身体拘束廃止委員会を開催しており、内容をミーティング時に全職員に伝達、また、マニュアルの周知徹底や研修に参加し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。今年度は委員にて各部署のラウンドを行い、意見など業務に活かしている。	契約時に、利用者及び家族に事業所の考えを説明し、身体拘束をしない支援に取り組んでいる。毎月2回、法人合同で身体拘束についての研修を受けており、身体的・精神的苦痛の無い支援を心がけている。GHミーティングで研修報告をし、高齢者虐待についても周知徹底が図られている。日中玄関は施錠されておらず、利用者は自由に行動でき職員は見守り支援を心がけている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	併設施設と合同で高齢者虐待防止委員会を開催しており、研修の実施、話し合いを行い、具体的な介助方法を職員間で共有し虐待防止に努めている。	併設施設と合同で高齢者虐待防止委員会を開催しており、研修の実施、話し合いを行い、具体的な介助方法を職員間で共有し虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	併設施設での研修会や機会があれば、外部の研修会への参加をしている。必要性のある方は併設施設の担当者と連携し相談を受けている。	併設施設での研修会や機会があれば、外部の研修会への参加をしている。必要性のある方は併設施設の担当者と連携し相談を受けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は時間をかけ、利用者や家族とゆったりとコミュニケーションを図れるよう配慮し、不安や疑問が残らないよう関わりを行っている。	契約時は時間をかけ、利用者や家族とゆったりとコミュニケーションを図れるよう配慮し、不安や疑問が残らないよう関わりを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(Ⅰ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(Ⅱ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	今回第三者機関へ報告すべき苦情等の受付はなかったが、今後利用者、家族へアンケート実施を予定しており、意見や要望を反映できるよう努める。	今回第三者機関へ報告すべき苦情等の受付はなかったが、意見箱を設置しており、また今後利用者、家族へアンケートを実施予定である。意見や要望を反映できるよう努める。	家族・利用者アンケートを実施し、意見や要望の把握に努めている。管理者や担当職員は、利用者や家族と話して状況説明や意見を聞くことが大切と考えている。請求書送付時に手紙を同封したり、必要に応じての電話や誕生会に招待するなど、家族と話しやすい環境づくりに努めている。出された意見や要望はミーティングなどで検討しプランに反映している。重要事項説明書に苦情受付手順や受付窓口、行政機関その他の苦情受付期間を明記し投函箱も設置されている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、ミーティングを実施し、管理者、職員との意見交換を行っている。また、管理者は現場での業務を行っているので、職員の意見や提案を聞く機会を多く設け反映出来るよう努めている。	毎月、ミーティングを実施し、管理者、職員との意見交換を行っている。また、管理者は現場での業務を行っているので、職員の意見や提案を聞く機会を多く設け反映出来るよう努めている。	管理者と主任や職員は普段からよく話し、何でも言える関係である。管理者は、職員が話しやすい雰囲気づくりに気を配り、意見や提案に耳を傾けている。勤務体制・勤務時間帯の変更や見直し、利用者の物品購入支援など、出された意見や提案は運営に活かせるよう検討がなされている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務状態や会議等での様子を総合的に見て、個々の課題作りや役割等の見直し、研修への参加を促す等行い、向上心が持てるよう努めている。	勤務状態や会議等での様子を総合的に見て、個々の課題作りや役割等の見直し、研修への参加を促す等行い、向上心が持てるよう努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	勉強会やミーティング等を利用している。また、可能な限り研修を受ける機会を作っている。	気付き、疑問点などの情報を共有化し勉強会やミーティング等で話し合う場を設けている。また、可能な限り研修を受ける機会を作っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県内の他事業所の職員との交流、意見交換等を定期的に行っている。	県内の他事業所の職員との交流、意見交換等を定期的に行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(Ⅰ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(Ⅱ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	日頃よりコミュニケーションを図り、その中から気持ちを汲み取り、ケアを行っている。また、職員間で、会議等で情報を交換し共有している。	日頃よりコミュニケーションを図り、その中から気持ちを汲み取り、ケアを行っている。また、職員間で、会議等で情報を交換し共有している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居されてからも面会時や電話連絡の際、定期的に機会を作り対応している。	入居されてからも面会時や電話連絡の際、定期的に機会を作り対応している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	基本情報やアセスメント作成時に情報収集を行い、相談内容に応じて医療、相談機関等の利用を行うよう努めている。	基本情報やアセスメント作成時に情報収集を行い、相談内容に応じて医療、相談機関等の利用を行うよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事や慣わし、畑作り等で利用者の方から学んだり、洗濯物たたみや食器拭き等、お手伝いをしていただき、支え合う関係を築いている。	食事や慣わし、畑作り等で利用者の方から学んだり、洗濯物たたみや食器拭き等、お手伝いをしていただき、支え合う関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話連絡の際には必ず本人の状態をお伝えし、また、行事参加の呼びかけを行い、共に過ごしていただく機会を作っている。	電話連絡の際には必ず本人の状態をお伝えし、家族の面会時は自室へ案内したりと、家族だけで過ごす時間を大切にしてもらえるよう配慮している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	併設施設の利用者の中に、顔なじみの方もおられ、訪問の際は必要に応じて個室にてお話される機会を作り、これまで培って来られた関係が途切れないよう支援を行っている。	併設施設の利用者の中に、顔なじみの方もおられ、訪問の際は必要に応じて個室にてお話される機会を作り、これまで培って来られた関係が途切れないよう支援を行っている。	隣接デイサービス利用者や介護事業所訪問者に顔なじみの知人が多く、帰りに立ち寄られることもあり、地域や馴染みの人との関係継続につながっている。利用者の要望で自宅に行くなど、家族の協力も得ながら利用者一人ひとりに合った支援に結び付けている。職員の送迎でお正月を自宅で過ごされた利用者もいる。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(Ⅰ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(Ⅱ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日頃の様子観察から相性等を把握し、座席の位置や利用者同士の関わり合い、まとまりがある人間作りに努めている。また、手伝いをしていただく際は偏らず、バランスを考えている。	日頃の様子観察から相性等を把握し、座席の位置や利用者同士の関わり合い、まとまりがある人間作りに努めている。また、手伝いをしていただく際は偏らず、バランスを考えている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了時に必要な時は相談に応じ、サポートを行う事を説明している。	契約終了時に必要な時は相談に応じ、サポートを行う事を説明している。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の生活歴から意向を汲み取る事他に、上手く意思表示が出来ないような方でも仕草や行動から想いを汲み取るよう努めている。また、家族へも相談しながら、本人の意向に沿えるように努めている。	本人とのコミュニケーションの中からも生活歴から意向や希望を汲み取り、本人の思いに添えるよう努め、家族からも情報を伺うようにしている。	担当職員制をとり、積極的に利用者の思いや意向の把握に努めている。発語が少ない人でも表情で推察し、その人の思いを汲み取るような気持ちに沿った支援につなげている。何でも書いてよい「気づきノート」があり、ミーティング時に活用しケアに活かしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族より情報を得たり、話題などに取り入れる等配慮している。	家族より情報を得たり、話題などに取り入れる等配慮している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	各勤務帯で記録の申し送りを通じ、情報を共有しながら1日の様子の把握に努め、定期的に話し合いの場を持ち、アセスメントに反映させている。	各勤務帯で記録の申し送りを通じ、情報を共有しながら1日の様子の把握に努め、定期的に話し合いの場を持ち、アセスメントに反映させている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者の自立支援に向けた課題についてどのように支援をするか、職員間や本人、家族ともカンファレンスを実施し意見を伺い、介護計画への反映に努めている。	利用者の自立支援に向けた課題についてどのように支援をするか、職員間や本人、家族ともカンファレンスを実施し意見を伺い、介護計画への反映に努めている。	栄養・排泄・活動と休息・神経・感覚・生活歴などのアセスメントシートで詳しく介護計画が立てられている。3～6ヶ月毎に評価が行われ、褥瘡発生のリスクを評価したブレイデンスケールとともにサービス担当者会議の資料として活用され、現状に即した介護計画に活かされている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(Ⅰ)	自己評価／ユニットB(Ⅱ)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に排泄、食事、服薬、水分摂取量、経過等記録をとっており、各勤務帯で対応の様子や変化等具体的に書くよう努め、勤務者同士の情報の共有と介護の記録の反映に活かしている。	個別に排泄、食事、服薬、水分摂取量、経過等記録をとっており、各勤務帯で対応の様子や変化等具体的に書くよう努め、勤務者同士の情報の共有と介護の記録の反映に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族との会話の中から、または状況が変わった時等の面接の中から要望を取り入れ支援を行うよう努めている。	本人や家族との会話の中から、または状況が変わった時等の面接の中から要望を取り入れ支援を行うよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	情報を収集する際に地域資源の状況を出来るだけ把握、連携するよう努めている。	情報を収集する際に地域資源の状況を出来るだけ把握、連携するよう努めている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居、受診時など適時本人、家族と相談し、支援しており、かかりつけ医と連携をとっている。また、必要に応じ専門医とも連携を取っている。	入居、受診時など適時本人、家族と相談し、支援しており、かかりつけ医と連携をとっている。また、必要に応じ専門医とも連携を取っている。	契約時に往診や投薬などを詳しく説明し、話し合っている。利用者や家族の意向を大切に、事業所の協力医への変更の他、入居前からのかかりつけ医の継続受診を支援している。通院は家族の送迎を基本としているが、職員での対応もなされている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師が利用者の状態を把握し、健康管理に努めている。また、利用者の状態変化時は報告、相談している。	看護師が利用者の状態を把握し、健康管理に努めている。また、利用者の状態変化時は報告、相談している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には定期的に面会に行き、本人の状態の把握と病院関係者との情報交換を行っている。	入院時には定期的に面会に行き、本人の状態の把握と病院関係者との情報交換を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(Ⅰ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(Ⅱ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	最初は入所時に確認し、その後は主治医や家族と随時話し合いの場を持ち、先々の方針の検討と情報の共有を行っている。今年度、終末期支援を希望される方がおられ、家族に随時説明を行いながら支援に努めた。	最初は入所時に確認し、その後は主治医や家族と随時話し合いの場を持ち、先々の方針の検討と情報の共有を行っている。	看取り介護に関する指針があり、契約時に本人及び家族に説明が行われている。ケアプラン変更時の同意時にも説明しており、利用者・家族・主治医・事業所は方針を共有している。看取りの経験もある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時は報告を行うと共に処置、対応については勉強会等を行っている。	緊急時は報告を行うと共に処置、対応については勉強会等を行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時マニュアルを職員が周知しており、地域の消防団参加にて、併設施設と合同の避難訓練を行う予定である。	災害時マニュアルを職員が周知しており、地域の消防団参加にて、併設施設と合同の避難訓練を行う予定である。	年2回、利用者も参加して隣接事業所合同で消防避難訓練を実施している。夜間火災発生時における基本行動の確認と利用者に対する生命の確保で、実際の夜間に訓練を実施している。土砂崩れなどの災害時対応で情報収集しており、防災訓練につなげるよう検討している。食料や飲料水は隣接母体法人において備蓄している。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人一人の人格を尊重し、さりげない支援、礼儀をわきまえた言葉使い等対応している。誇りやプライバシーを損ねないように、声かけの際の表情や伝わりやすい言葉等で対応している。	利用者一人一人の人格を尊重し、さりげない支援、礼儀をわきまえた言葉使い等対応している。声掛けの際は表情を確認しながら職員側の表情、対応にも十分気を付けて行っている。	職員は利用者の歴史を大切に支援を心がけており、その人に合った言葉かけや対応に配慮している。言葉づかいやあいさつに注意し、プライバシーを損ねる事の無いよう配慮している。外部での研究発表時など、利用者の写真やビデオを使用する時は本人や家族に同意をとっている。トイレの声かけや下着交換はさり気なくし、羞恥心に配慮した対応がなされている。	



自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(Ⅰ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(Ⅱ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	食事やその日の作業等、日常の中で場面を作るよう配慮しており、介助の前は本人の同意を得てから対応している。	食事やその日の作業等、日常の中で場面を作るよう配慮しており、介助の前は本人の同意を得てから対応している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝の起床時や就寝時間等、生活の流れを利用者のその日のペースに合わせて支援を行っている。	朝の起床時や就寝時間等、生活の流れを利用者のその日のペースに合わせて支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎朝、入浴後等、一人一人職員がついて、本人の意向を第一に考え、整容を行っている。	毎朝、入浴後等、一人一人職員がついて、本人の意向を第一に考え、整容を行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は出来るだけ共に食事を摂るようにしており、個人に応じた食器での提供やゆっくり楽しみながら食べていただくよう配慮を行っている。また、個々の能力に応じて下準備、食器拭き、配膳等していただいている。必要に応じて、食事形態の検討も行っている。	職員は出来るだけ共に食事を摂るようにしており、個人に応じた食器での提供やゆっくり楽しみながら食べていただくよう配慮を行っている。また、個々の能力に応じて下準備、食器拭き、配膳、下膳等していただいている。必要に応じて、食事形態の検討も行っている。	献立は母体法人の管理栄養士が立てており、1日2食分は外部の介護食を利用している。利用者の希望や要望があったり、菜園の野菜収穫時などでメニューの変更は随時可能である。ご飯とみそ汁は事業所で準備し、ペースト食や減塩食などの特殊食は母体厨房で調理されている。誕生会ではその人が好きなメニューが用意され、手づくりケーキも準備される。毎年、家族を招いた敬老会では手づくりバイキングが準備され、家族一緒に楽しい食卓を囲めるよう支援している。曾孫さんが参加される家族もいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分の摂取量はチェック表にて把握している。医師の指示により食事量や形態は個別に対応している。また、排泄面も考慮し、支援を行っている。	食事、水分の摂取量はチェック表にて把握している。医師の指示により食事量や形態は個別に対応している。また、排泄面も考慮し、支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを実施しており、義歯を使用されている方は、毎日、義歯洗浄剤にて洗浄を行っている。	毎食後、口腔ケアを実施しており、義歯を使用されている方は、毎日、義歯洗浄剤にて洗浄を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(Ⅰ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(Ⅱ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握して出来るだけトイレ内での排泄を促している。また、誘導、介助はさりげなく行い、失禁の対応は一目のつかないところに誘導する等十分に配慮している。	排泄パターンを把握して出来るだけトイレ内での排泄を促している。また、誘導、介助はさりげなく行い、失禁の対応は一目のつかないところに誘導する等十分に配慮している。	利用者一人ひとりに合わせた排泄の自立支援を心がけている。時間や様子を見ながら声かけし、トイレで排泄できるように支援している。現在利用者の殆どの利用者が布パンツ使用であり、パッドも使用しながらトイレで排泄できている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維、乳製品を多く取り入れ、出来るだけ自然排便を目指している。また、日常生活の中で運動を取り入れている。	食物繊維、乳製品を多く取り入れ、出来るだけ自然排便を目指している。また、日常生活の中で便秘体操など運動を取り入れている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	本人の希望に合わせ、昼夜を問わず入浴の支援を行っている。	本人の希望に合わせて入浴の支援を行っている。	入浴は週2～3回が基本であるが、利用者の要望があれば毎日でも可能である。風呂は、近くの熊の川温泉から温泉水を引いて利用しており利用者から喜ばれている。GHⅡの浴室からは豊かな自然あふれた山が見え、開放感のある景色を眺めながら入浴を楽しめる。身体機能が衰えた利用者は隣接する介護老人福祉施設のなごみ荘の機械浴設備を利用できるように支援されている。清拭やシャワー浴・足浴など、利用者の要望や状態に沿った支援も行われている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間の様子を記録に残し把握を行い、一人一人の就寝時間を変えたり、また、日中の活動等を工夫し、生活のリズムを整えるように努めている。	夜間の様子を記録に残し把握を行い、一人一人の就寝時間を変えたり、また、日中の活動等を工夫し、生活のリズムを整えるように努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬の説明書を保管している薬と同じ場所に置いており、随時、職員が内容を把握出来るよう努めている。また、与薬前には職員2名で確認し、服薬チェックに記入している。	内服薬の説明書を保管している薬と同じ場所に置いており、随時、職員が内容を把握出来るよう努めている。また、与薬前には職員2名で確認し、服薬チェックに記入している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(Ⅰ)	自己評価／ユニットB(Ⅱ)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	それぞれの好みや得意な分野を考慮して、利用者と相談しながら行っている。また、外出、散歩等により気分転換を図っている。	それぞれの好みや得意な分野を考慮して、利用者と相談しながら行っている。また、外出、散歩等により四季の移り変わりを楽しんでいただく等、気分転換を図っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日々の生活の中で、少しでも楽しみを持っていただけるよう併設施設の行事にも参加していただいている。また、気分転換もかねた散歩等もしていただき、家族へも相談し、一時帰宅等の外出支援も行っている。	日々の生活の中で、少しでも楽しみを持っていただけるよう併設施設の行事にも参加していただいている。また、気分転換もかねた散歩等もしていただき、家族へも相談し、一時帰宅等の外出支援も行っている。	敷地が広く利用者は自由に戸外に出て外気浴や散歩ができる。管理者は外気浴の大切さを理解している。広いウッドデッキには机やベンチが置かれ、景色を楽しみながら食事をしたりお茶を楽しむ事ができる。菜園での作業やプランターの花の水やりなど、気候の良い時はなるべく屋外に出られるように支援されており、バスハイクも行われている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人一人の希望や能力に応じて金銭管理をしており、外出や使用する機会の際に支援している。	一人一人の希望や能力に応じて金銭管理をしており、外出や使用する機会の際に支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に応じて行っており、家族にも協力していただいている。	希望に応じて行っており、家族にも協力していただいている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	音の大きさや光の強さに対する配慮は必要に応じて行っている。リビングに畳間の設置やソファを置いたり、また、季節に応じて壁飾りや生花を飾る等、家庭的な雰囲気作りを行っている。	音の大きさや光の強さに対する配慮は必要に応じて行っている。リビングに畳間の設置やソファを置いたり、また、季節に応じて壁飾りや生花を飾る等、家庭的な雰囲気作りを行っている。	事業所内は広くて明るく落ち着いた雰囲気である。掃除の時には窓を開けて換気を心がけ、エアコンと加湿器で温度・湿度を管理している。ホールや廊下にはソファやイス・テーブルが置かれ、利用者や訪問者はお気に入りの場所でゆっくりくつろぐことができる。不快な臭いが発生しないよう汚物をこまめに処理し、トイレを開け放たないように気を付けている。毎日掃除を徹底し、気持ちよく過ごせるように支援している。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(Ⅰ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(Ⅱ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の 合った利用者同士で思い思いに過ごせる ような居場所の工夫をしている	畳間やソファを置いたり、リビングス ペース等、お気に入りの空間を選択 出来るようにしており、テラスにテー ブルベンチを設置し有効活用してい る。	畳間やソファを置いたり、リビングス ペース等、お気に入りの空間を選択 出来るようにしており、箱庭の前に テーブルと椅子を設置し有効活用し ている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家 族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	個人により持ち込まれている家具等 の量は差がある。グループホーム側 でも個人の好みに合わせて写真や カードを飾る等の工夫をしている。	当初よりクローゼットを設置せず個 人で用意していただいている。グ ループホーム側でも個人の好みに 合わせて写真やカードを飾る等の工 夫をしている。	居室はフローリングで明るく、広くて 洗面台付きである。タンスや鏡台・ 収納ケース・イス・テレビなど自宅で 使い慣れた馴染みのものが持参さ れている。壁には写真やカレン ダー・時計・書・手作り手芸作品が 飾られ、居心地よく過ごせる居室づ くりが支援されている。職員の支援 で掃除され、きれいに片付いてい る。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や 「わかること」を活かして、安全かつでき るだけ自立した生活が送れるように工夫して いる	最初は必要のなかった浴槽の手す りや滑り止めのマット、シャワーチェ アを設置し、キッチンの作業台の高 さも利用者に合わせて低くする等 の配慮をしている。また、トイレ迄の距 離も短く数の確保も出来ており、車 椅子の方でも使用し易い広さにして いる。	最初は必要のなかった脱衣場の手 すりを設置し、キッチンの作業台の 高さも利用者に合わせて低くする等 の配慮をしている。また、居室からト イレ迄の距離も短く数の確保も出来 ており、車椅子の方でも使用し易 い広さにしている。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない